

リモート撮影システム

October, 2020



リモート撮影の有用性

コロナウイルスが世界中に猛威を振り出してから半年以上が過ぎたものの、未だに日米間の渡航後には14日間の自主隔離が求められるなど、状況が好転する兆しはなかなか見えません。

「アメリカで撮影を行いたいが、現地に足を運ぶことができない」というクライアントさまの声を多く耳にする中で、現行のインターネット回線とビデオ通話アプリを利用することで、日本のご自宅と現地アメリカの撮影現場を繋ぐことができないかと考えました。クライアントさまが日本にいながら、コンピューター上で収録映像や撮影の様子をモニタリングし、リアルタイムでディレクションを行う、そんな新しいリモート撮影のスタイルをご提案いたします。

ビデオ会議アプリで共有

ZOOMやMicrosoft Teamsなどのビデオ会議アプリを使用します。複数名が同時に参加可能なので、監督は自宅から、プロデューサーは会議室からなど、それぞれが日本の別の場所にながら、同じアメリカの撮影現場をモニタリングすることができます。コンピューターだけでなく携帯電話にも対応していますので、インターネット環境さえあれば出先からでも簡単にアクセスすることが可能です。



ライブ映像を直接モニタリング

HD画質での映像を送出いたします。ENG、デジカム、一眼や4K・8Kシネマカメラなど、各種カメラからのアウトプットに対応していますので、生の収録映像はもちろん素材のプレイバックも即座に行えます。ワイヤレスビデオ送信機をご活用いただくことによって、ハンディ撮影による動きのある映像もお届けいたします。

複数カメラ撮影はマルチビューで

インタビューやイベント撮影など複数のカメラを同時に使用する場合は、スイッチャーを通してのマルチビュー画面をご提供いたします。複数のマイクや外部音源もミキサーを通してビデオ通話に組み込み、撮影スタッフはインカムを装備いたしますので、アングルやサイズの確認はもちろん、音に合わせた動きやカメラワークも、リアルタイムで現場にご指示いただけます。



※Zoom画面



プラス1カメラで全体の状況を把握

収録映像だけでなく、現場の状況や裏側の動きを把握されたいお客さまには、もう1台カメラを足して現場全体が見える位置に配置し、その映像をマルチビューに加えます。そうすることで、撮影中のカメラ映像のモニタリングと同時に、現場がどういう状況か確認することが可能になり、シチュエーションに応じたディレクションを行なっていただけます。

機動性重視で屋外ロケにも対応

ラップトップと専用インターフェイス、またはワイヤレスビデオ送信機と携帯電話を持ち運ぶだけです。どの都市からの撮影でも簡単にお繋ぎすることができます。モニターとスイッチャーを合わせてもマグライナー1台とコンパクトに収まるサイズですので、機動性は抜群です。また1000ワットのポータブルバッテリーも完備し、電源の取れない屋外撮影にも対応いたします。



Cosmo Space of America Co., Ltd.

<http://cosmospaceusa.com/>

8800 Venice Blvd PH401 Los Angeles, CA 90034

Tel : +1-310-287-2645

Email : info@cosmospaceusa.com